

マスク 2000枚寄贈

わかすぎ学園「助かります」

イースト
住宅情報

不動産管理、賃貸のイースト住宅情報(登別市美園町、山下眞弘代表取締役)は11日、室蘭市母恋南町の児童養護施設・わかすぎ学園に、不織布のサージカルマスク2千枚と消毒用ジェル12本を寄贈した。18日には、同数のマスクと消毒ジェルを登別市教委に寄贈する予定だ。

同社は室蘭、登別の両市でアパマンショップ2店舗などを展開している。マスクや消毒薬を寄贈するのは今回が初めて。同園を訪れた上岡靖英・東室蘭店店長は「新型コロナウイルス対策として、不足している人などに使ってもらえたら」



と、伊藤裕司施設長にマスクと消毒用ジェルを手渡した。

伊藤施設長は「マスクは何枚あっても助かるし、日々使用する消毒用ジェルも本当にありがたい。大切に使用させていただきます」と謝辞を述べた。

~~~~~  
伊藤施設長(右)にマスクなどを手渡す上岡店長

寄贈されたマスクとジェルは、わかすぎ学園を運営する室蘭言泉学園の各施設で活用される。

(北川誠)